



# 変わらぬ技術、心

## 時代が変わつても、信頼されつづける組織でありたい

国立印刷局は、行政執行法人としての高い公共性と、独立採算による自律的運営を特徴とする、とてもユニークな組織です。

明治四年の創設以来、日本銀行券、官報、旅券、郵便切手といった

国民生活にとって身近な製品の製造という使命を果たし続けるとともに、印刷、製紙等の技術の近代化、発展にも貢献してきました。

職員は、国家公務員としての自覚と強い責任感を持ち、日々の業務においてはチームワークを大切にしつつ、技術や品質の維持、向上を追求しています。

近年、キャッシュレス化の進展、仮想通貨の登場等、国立印刷局の事業、

製品を取り巻く社会的、技術的な環境は大きく変わりつつあります。

国立印刷局は、今後も伝統を守りながら、環境の変化に柔軟に対応することにより、

国民に信頼される製品の提供<sup>ものづくり</sup>を継続し、

更に情報サービスの拡充など、付加価値のある製品や技術の開発を目指します。

現状を客観的に見つめ、決して満足することのない「向上心」を胸に、自ら考え、自ら行動できる人材が新たな仲間として加わり、ともに変革に挑戦し、社会に貢献していくことを期待しています。

伝統に裏打ちされた技術をたずさえて

時代とともに歩む国立印刷局であなたも働いてみませんか。